

(参考資料)

志津見ダム・尾原ダム建設事業の費用便益比の再計算

会計検査院から国土交通省に対して、「ダム建設事業における費用対効果分析について」として意見表示がなされたことを受け、国土交通本省より次の2点について方針が示されたことから、平成20年度に実施した志津見ダム・尾原ダム建設事業の費用便益比(B/C)の再計算を実施した。

【方針1】評価時点より前に計上される費用等の現在価値化

評価時点より前に計上される費用・便益についても、社会的割引率を用いて現在価値化。

(平成20年度評価では社会的割引率を用いて現在価値化していなかった。)

【方針2】不特定容量便益の計上方法

不特定容量便益を代替法で算定する際は、対象ダム整備期間中の各年度に割り振って身替りダム建設費を計上。

(平成20年度評価ではダム完成後の評価期間に割り振って計上していた。)

事業名称	箇所	基本諸元	事業採択年度	進捗状況	最新の 評価年度
志津見ダム建設事業	島根県	目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水(島根県10,000m ³ /日)、発電(最大1,700kw) 形式：重力式コンクリートダム 堤高：85.5m 総貯水容量：50,600千m ³	実施計画調査着手： 昭和58年4月 建設事業着手： 昭和61年4月	試験湛水中	H20
		H20評価時のB/C	新方針により算出したB/C (現在価値化、ダム不特定 用水便益整備期間計上) (H20時点評価)		
		2.1	1.8		



事業名称	箇所	基本諸元	事業採択年度	進捗状況	最新の 評価年度
尾原ダム建設事業	島根県	目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水(島根県38,000m ³ /日) 形式：重力式コンクリートダム 堤高：90m 総貯水容量：60,800千m ³	実施計画調査着手： 昭和62年4月 建設事業着手： 平成3年4月	試験湛水中	H20
		H20評価時のB/C	新方針により算出したB/C (現在価値化、ダム不特定 用水便益整備期間計上) (H20時点評価)		
		1.9	2.0		

